

具体的施策の概要

具体的施策事業の概要

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

I-1 温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策の推進

I-1-1 事業活動における温室効果ガス排出量削減の推進

I-1-2 市民生活における温室効果ガス排出量削減の推進

I-1-3 交通における地球温暖化対策の推進

I-1-1 事業活動における温室効果ガス排出量削減の推進

I-1-1-1 大規模事業者の温室効果ガス排出量の削減

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
事業活動地球温暖化対策計画書制度による温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	□計画書・報告書提出件数 （第1,2,4号該当者） ・計画書：132件 ・結果報告書：150件 □立入調査件数：30件	□計画書・結果報告書提出事業者への指導・助言の継続実施 □立入調査の継続実施
定期的な二酸化炭素等の排出量の実態把握の実施 〔環：地球環境推進室〕	□二酸化炭素等排出量 ・2014年度改定値 二酸化炭素：2,304万トン-CO ₂ メタン：2.6万トン-CO ₂ 一酸化二窒素：9.7万トン-CO ₂ HFC _s ：26.8万トン-CO ₂ PFC _s ：2.1万トン-CO ₂ 六ふっ化硫黄：4.1万トン-CO ₂ ・2015年度暫定値 二酸化炭素：2,272万トン-CO ₂ メタン：2.8万トン-CO ₂ 一酸化二窒素：9.7万トン-CO ₂ HFC _s ：28.0万トン-CO ₂ PFC _s ：3.2万トン-CO ₂ 六ふっ化硫黄：5.4万トン-CO ₂ □域外貢献量 ・2015年度推計値 329万トン-CO ₂	継続実施

I-1-1-2 中小規模事業者の温室効果ガス排出量の削減

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
中小規模事業者向け省エネ診断の実施などによる温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	□省エネルギー診断（3件） □市内事業者エコ化支援事業（17件）	継続実施
公害防止資金融資制度の有効活用による公害防止対策の推進 〔環：環境管理課〕	□補助、支援件数 ・融資実績： 工場・事業場における公害防止装置の設置等に対し融資〇件、〇千円 ・融資残額： 〇千円 〇利子補給：2件、124千円	□予定 ・融 資 枠：200,000千円 ・利子補給：1件、13千円

I-1-1-3 低炭素型のビジネススタイルの構築

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
低CO ₂ 川崎ブランドの認定及び普及の推進 〔環：地球環境推進室〕	□低CO ₂ 川崎ブランド [*] 16として、5件を認定	継続実施 □低CO ₂ 川崎ブランド等推進協議会による事業推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
川崎メカニズム認証制度による温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	□2件の製品・技術等について域外貢献量を認証	継続実施 □低CO ₂ 川崎ブランド等推進協議会による事業推進

I-1-2 市民生活における温室効果ガス排出量削減の推進

I-1-2-1 協働した地球温暖化対策の推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
CC川崎エコ会議を通じた普及啓発 〔環：地球環境推進室〕	□シンポジウムの開催（11/17、86名参加） □第5回スマートライフスタイル大賞の実施 □国際環境技術展2017への出展	□シンポジウムの開催 □第6回スマートライフスタイル大賞の実施 □国際環境技術展2018への出展
川崎市地球温暖化防止活動推進センターを通じた温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	□CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示（毎月）、ミニ講座等の実施（月1回） □夏休みの自由研究相談と講座の実施（19回） □川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトとして小学校の出前授業の実施（78件）、環境イベントへの出展	□CCかわさき交流コーナーにおけるテーマ展示・ミニ講座の実施 □夏休みの自由研究相談と講座、親子見学会の実施 □川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトとして小学校の出前講座の実施、環境イベントへの出展

I-1-2-2 資源・エネルギー消費の抑制等

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
市民の省エネルギー型行動の促進 〔環：地球環境推進室〕	□川崎市地球温暖化防止活動推進員による活動（85人） ・CCかわさき交流コーナーのテーマ展示・ミニ講座の実施 ・地球温暖化に関する出前授業の実施 ・環境イベントへの出展 □川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトとして活動を実施〔グリーンコンシューマー〕 ・グリーンコンシューマーの普及啓発の実施 ・1店1エコ運動の推進 ・「食品添加物とグリーンコンシューマー10原則」などの講演会開催 ・「エコちゃんずのエコショッピング・クッキングBOOK」を活用した講座等の実施 〔省エネグループ〕 ・「エコライフ・チャレンジ」の取組の推進〔ソーラーチーム〕 ・各種地域イベントでの自然エネルギーの普及啓発活動を実施 ・自然エネルギー調査の実施〔3R推進プロジェクト〕 ・各種地域イベントでの分別に関する普及啓発活動を実施〔環境教育・学習開発実践プロジェクト〕 ・環境教育、環境学習に関する新しいプログラム、教材の開発及び実践〔新規分野開拓プロジェクト〕 ・新しい分野での地球温暖化対策の検討及び調査等の実施	□川崎市地球温暖化防止活動推進員による省エネルギー型行動促進の継続継続実施 □川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトとして活動を実施〔グリーンコンシューマー〕 継続実施 〔省エネグループ〕 継続実施 〔ソーラーチーム〕 継続実施 〔3R推進プロジェクト〕 継続実施 「川崎たねだんごプロジェクト」 各種地域イベントでの普及啓発活動を実施
川崎市地球温暖化防止活動推進センターを通じた温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	【I-1-2-1 施策参照】	【I-1-2-1 施策参照】

I-1-2-3 環境配慮型ライフスタイルの構築

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
川崎市地球温暖化防止活動推進センターを通じた温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	【I-1-2-1 施策参照】	【I-1-2-1 施策参照】
環境イベント・シンポジウム等開催による地球温暖化対策に関する意識啓発 〔環：地球環境推進室〕	☐ C C川崎エコ会議シンポジウム（11/17、86人参加） ☐ 第5回スマートライフスタイル大賞の実施 ☐ 国際環境技術展への出展 ☐ 地球温暖化防止トークショー（フロンターレホームゲームイベント）	☐ C C川崎エコ会議シンポジウム ☐ 第6回スマートライフスタイル大賞の実施 ☐ 国際環境技術展への出展 ☐ C C等タカエコ暮らしコフェアの開催
国、近隣自治体との連携による地球温暖化に関する広域的対策の推進 〔環：地球環境推進室〕 〔環：環境調整課〕	☐ 九都県市共同で地球温暖化防止キャンペーン、太陽熱利用PR動画の制作及びセミナーの実施	☐ 九都県市共同で地球温暖化防止キャンペーンの実施、太陽熱利用PR動画を活用した普及啓発及びセミナーの実施

I-1-3 交通における地球温暖化対策の推進

I-1-3-1 環境にやさしい交通ネットワークの構築

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
市民・事業者による自主的な交通環境配慮行動に向けた普及啓発 〔環：大気環境課〕	☐ かわさき自動車環境対策推進協議会の開催 ☐ 川崎市交通環境配慮行動メニューのパンフレット配布等による普及啓発 ☐ 産業道路クリーンライン化の取組実施	継続実施 ☐ 川崎市交通環境配慮行動メニューの改訂
川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例に基づく荷さばき用駐車施設の整備促進 〔ま：交通政策室〕	☐ 一定規模以上の建築物の新築又は増改築時に荷さばき用駐車施設の設置を義務付け：38箇所 290台	継続実施

I-1-3-2 公共交通機関の利便性の向上

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
公共交通機関の利用促進 〔交：運輸課〕 〔交：管理課〕	・タブレット型停留所運行情報表示器13基の導入 ・「市バスナビ」を全営業所で展開中 ・I C乗車券（「PASMO」、「Suica」等）が利用可能 ・I C定期乗車券（「PASMO」、「Suica」）が利用可能	継続実施
鉄道交通機関の利便性の向上による交通手段の転換の推進 〔ま：交通政策室〕	・広域鉄道計画ネットワーク機能強化の推進	継続実施
公共交通車両の通行を優先させる取組の推進 〔環：大気環境課〕	・PTPS（公共車両優先システム）を使用した特急バスの運行を実施（2003年8月から本格運行）	継続実施
バスロケーションシステムの導入促進 〔ま：交通政策室〕	・バス停留所表示機4基の導入	・バス停留所表示機1基の導入
バス路線等の公共交通網の整備・拡充 〔交：運輸課〕 〔交：管理課〕	☐ バス車両導入車件数 ・バス車両の整備（車両導入6両） ノスタップバス（低公害型） ：6両（うちハイブリッドバス1両） ・在籍車両数：344両（2017年3月末） ノスタップバス：323両	☐ バス車両導入計画 ・ノスタップバス（低公害型） ：5両（うちハイブリッドバス2両）

	ワンステップバス：21両 ☐ バス停留所上屋整備箇所数、照明付バス停留所標識の整備箇所数 ・バス停留所上屋の整備：14か所（計265か所） ・照明付バス停留所標識の整備：20基（計366基） ☐ バス利用者数：4,874万人	☐ バス停留所上屋及び照明付バス停留所標識の整備計画 ・バス停留所上屋整備箇所数：14か所 ・照明付バス停留所標識の整備箇所数：20基
--	--	--

I-1-3-3 自動車単体対策の推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
自動車対策・普及啓発の推進 〔環：地球環境推進室〕 〔環：大気環境課〕	☐ 低公害車導入助成制度 助成台数4台 ☐ 電気自動車及び燃料電池自動車の展示・同乗体験の実施 実施回数27回	継続実施 ☐ 電気自動車及び燃料電池自動車の導入 公用車4台（保有台数：電気自動車9台、燃料電池自動車3台）
環境に配慮した運搬制度の推進 〔環：大気環境課〕	☐ 市条例に基づくエコ運搬制度の推進 ☐ 川崎市市内エコ運搬制度実施方針に基づく庁内での取組推進	継続実施
事業活動地球温暖化対策計画書制度による温暖化対策の推進 〔環：地球環境推進室〕	☐ 計画書・報告書提出件数（第3号該当者） ・計画書：15件 ・結果報告書：14件 ☐ 立入調査件数：1件	☐ 計画書・結果報告書提出事業者への指導・助言の継続実施 ☐ 立入調査の継続実施

I-1-3-4 自転車等の通行空間の確保

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
自転車通行空間の整備 〔建緑：企画課〕 〔建緑：道路施設課〕	☐ 実施計画に基づく整備：11箇所 ☐ 主要地方道東京丸子横浜における自転車通行環境整備の推進	☐ 実施計画に基づく整備：5箇所 ☐ 主要地方道東京丸子横浜における自転車通行環境整備の推進
歩道整備等の推進 〔建緑：道路施設課〕	☐ 歩道整備延長： ・市道大師大島線ほか：2.9km	☐ 歩道整備延長 ・市道川崎1号線ほか：1.0km

施策の方向

施策の柱

I-2 地域のエネルギー資源の有効かつ効率的な利用の促進

I-2-1 再生可能エネルギー源等の利用

I-2-2 地域における低炭素都市づくりの推進

I-2-1 再生可能エネルギー源等の利用

I-2-1-1 ソーラーシティプロジェクトの推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
住宅用太陽光発電設備設置補助事業の実施 〔環：地球環境推進室〕	総計：133件（約605kW） ＜内訳＞ 個人住宅 132件（約595kW） 共同住宅 1件（約10kW）	総計：約650件（太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの合計件数）
公共施設及び民間施設への太陽エネルギー利用施設の導入の推進 〔ま：施設計画課〕 〔教：教育環境整備推進室〕 〔環：地球環境推進室〕	☐ 導入件数 ☒ 公共施設 太陽光発電設備（1kW以上）：10か所 ・川崎市港湾振興協会（10kW） ・エポックなかはら（10kW） ・溝口駅南口広場（25kW） ・生田配水池（1,056kW） ・京町小学校（10kW） ・夢見ヶ崎小学校（10kW） ・宮内中学校（10kW） ・久本小学校（10kW） ・井田中学校（10kW） ・久末小学校（30kW）	☐ 導入計画 ☒ 公共施設 太陽光発電設備（1kW以上）：11か所 ・四谷小学校（10kW） ・東小田小学校（10kW） ・浅田小学校（10kW） ・幸町小学校（10kW） ・御幸中学校（10kW） ・玉川小学校（10kW） ・住吉小学校（10kW） ・新作小学校（10kW） ・南菅中学校（10kW） ・片平小学校（10kW） ・中野島中学校（10kW）

	◇民間施設 市内事業者エコ化支援事業（1件） 住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器導入補助事業（133件）	◇民間施設 継続実施
太陽光発電設備の導入（長沢浄水場） [上下：浄水課]	・発電電力（1,155kW） ・年間総発電量：816,610kWh	・発電電力（1,155kW） ・年間総発電量：約 1,130,000kWh（予定）

I-2-1-2 エネルギーを有効利用する仕組みづくり

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
建築物の熱損失の防止及び空気調和設備等の効率的利用により、建築物に係るエネルギー使用の合理化を総合的に推進 [ま：建築指導課]	□エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく届出 ・届出件数：600件	□建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく適合性判定及び届出
公共施設における断熱性を考慮した建築設計等の採用の推進 [ま：施設計画課] [教：教育環境整備推進室]	□導入建物件数：16公共施設 ・消防局航空隊庁舎 ・麻生消防署王禅寺出張所 ・交通局上平間営業所 ・幸町小学校 ・御幸中学校 ・住吉小学校 ・玉川小学校 ・四谷小学校 ・東小田小学校 ・浅田小学校 ・京町小学校 ・大師小学校 ・木月小学校 ・坂戸小学校 ・菅生小学校 ・西生田中学校 ・緑ヶ丘霊園	□導入計画：3公共施設 ・南河原小学校 ・平間小学校 ・登戸小学校
再生可能エネルギー源導入・利用状況調査の実施 [環：地球環境推進室]	□市域内の太陽光発電設備導入量 約77,000kW	継続実施
再生可能エネルギー源導入促進 [環：地球環境推進室]	【I-2-1-1 施策参照】	継続実施
再生可能エネルギーの利用技術等の最新動向に関する情報収集 [環：地球環境推進室]	□環境配慮機器の最新動向調査を実施	継続実施
建築物環境配慮制度の推進 [ま：建築指導課]	□届出件数：74件	継続実施
公共施設のエネルギー需要特性に応じた効率的なエネルギー供給システムの採用の推進 [ま：施設計画課]	□コージェネレーションシステム導入：0件	継続実施

I-2-1-3 地域特性を踏まえた再生可能エネルギー源等の導入拡大

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
ごみ焼却施設等の余熱による発電や温水プールへの活用の推進 [環：処理計画課]	□発電量 ◇発電実績量 ・浮島処理センター： 52,904,410kW/h ・堤根処理センター： 9,979,380kW/h ・王禅寺処理センター： 54,845,770kW/h □余熱利用市民施設（温水プール等）へ 蒸気供給 ・堤根処理センター ・王禅寺処理センター □施設内の冷暖房他余熱の有効利用	□余剰電力の売電 ・浮島処理センター ・王禅寺処理センター □余熱利用市民施設への蒸気供給 ・堤根処理センター ・王禅寺処理センター □施設内の冷暖房他余熱の有効利用 ・浮島処理センター ・堤根処理センター ・王禅寺処理センター

	・浮島処理センター ・堤根処理センター ・王禅寺処理センター	
浄水場と配水池の高低差等を利用したマイクロ水力発電設備の導入による未利用エネルギーの活用 [上下：水運用センター]	☐ マイクロ水力発電設備による未利用エネルギーの利用 ・江ヶ崎発電所：290,510kWh ・鷺沼発電所：217,850kWh ・平間発電所：843,864kWh	☐ マイクロ水力発電設備による未利用エネルギーの利用 ・江ヶ崎発電所、鷺沼発電所、平間発電所
下水処理水の水位落差を利用した小水力発電の導入による未利用エネルギーの活用 [上下：下水道計画課]	☐ 小水力発電設備による未利用エネルギーの利用 ・入江崎水処理センター（西系再構築施設）：20,934kWh（機器故障のため約4箇月不稼動。12箇月稼動の場合約31,000kWh）	継続実施
下水汚泥焼却熱の温水プール等への有効利用 [上下：下水道計画課]	☐ 入江崎総合スラッジセンターにおける下水汚泥焼却熱による温水プール等の運用 ☒ 有効利用熱量（電力量換算） ・入江崎総合スラッジセンター：約737万kWh	継続実施
グリーン電力の購入推進 [環：地球環境推進室]	☐ イベント（かわさき市民まつりなど）：7,300kWh	継続実施

I-2-2 地域における低炭素都市づくりの推進

I-2-2-1 面的な対策の推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
開発事業地球温暖化対策計画書等を活用した面的なエネルギー利用の促進 [環：地球環境推進室]	☐ 計画書提出件数：1件	☐ 計画書提出事業者への指導・助言の継続実施

I-2-2-2 高いエネルギー効率を有する建築物の誘導

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
建築物環境配慮制度の推進 [ま：建築指導課]	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

I-3 ヒートアイランド対策の推進

I-3-1 緑・水の確保

I-3-2 排熱の抑制

I-3-3 地表面被覆の改善

I-3-1 緑・水の確保

I-3-1-1 緑・水の確保

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
ヒートアイランド等に関する調査研究の推進 [環：地球環境推進室] [環：環境総合研究所]	☐ 気温分布に関する調査の実施 ☐ ヒートアイランド対策実施状況調査の実施	継続実施
緑の保全・創出・育成	（Ⅲ-1 施策参照）	
健全な水循環の確保	（Ⅲ-2 施策参照）	

I-3-2 排熱の抑制

I-3-2-1 排熱の抑制

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
ヒートアイランド等に関する調査研究の推進 〔環：地球環境推進室〕 〔環：環境総合研究所〕	【I-3-1-1 施策参照】	【I-3-1-1 施策参照】
建築物の熱損失の防止及び空調設備等の効率の利用により、建築物に係るエネルギー使用の合理化を総合的に推進 〔ま：建築指導課〕	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】
公共施設における断熱性を考慮した建物設計等の採用の推進 〔ま：施設計画課〕	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】
公共施設のエネルギー需要特性に応じた効率的なエネルギー供給システムの採用の推進 〔ま：施設計画課〕	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】
建築物環境配慮制度の推進 〔ま：建築指導課〕	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】

I-3-3 地表面被覆の改善

I-3-3-1 地表面被覆の改善

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
ヒートアイランド等に関する調査研究の推進 〔環：地球環境推進室〕 〔環：環境総合研究所〕	【I-3-1-1 施策参照】	【I-3-1-1 施策参照】
公共施設・学校等における緑地の確保、屋上・壁面緑化、シンボルツリーの植栽、ベランダ緑化等による緑化の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□緑化指導件数、面積 指導件数 17 件 面積：74,106m ² （うち保全面積 69,701m ² ） □緑のカーテン：289 施設で実施	継続実施
民有地の屋上緑化、壁面緑化等の緑化整備に対する支援制度の普及・啓発の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□屋上緑化等助成制度の施行 屋上緑化・壁面緑化の件数：屋上 2 件 ：壁面 0 件 緑化面積：約 128m ² □指針の策定状況 ・屋上緑化等技術指針の配布及び助言 ・緑化指導による屋上緑化・壁面緑化の整備 屋上緑化・壁面緑化の件数： 屋上 21 件、壁面 4 件 □緑化面積：3,138 m ²	継続実施
歩道や公共施設等の整備における積極的な透水性舗装等の導入 〔ま：施設計画課〕 〔建緑：道路整備課〕 〔建緑：道路施設課〕 〔建緑：企画課〕	□透水性舗装を採用した公共施設数 導入実績：3 件 ・上丸子小学校 ・幸区役所 ・下沼部小学校 □透水性舗装を採用した施工面積（累計） ・透水性舗装施工計画面積（公共施設）：4,129 m ² ・透水性舗装施工総面積（歩道）：456,879 m ²	□透水性舗装を採用した公共施設 導入計画：2 件 ・川崎競輪場 ・かわさき北部斎苑 □透水性舗装の導入促進 ・透水性舗装施工計画面積（公共施設）：3,675 m ² ・透水性舗装施工（歩道）：事業促進

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

I-4 その他の地球環境保全

I-4-1 オゾン層の保護等その他の地球環境問題への取組

I-4-1 オゾン層の保護等その他の地球環境問題への取組

I-4-1-1 オゾン層*の保護

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
代替フロンガスの環境濃度測定 〔環：大気環境課〕 〔環：環境総合研究所〕	□代替フロン濃度 ・HFC-134a：0.16ppb ・HCFC-22：0.39ppb ・HCFC-142b：0.028ppb ・HCFC-141b：0.041ppb	□市内4地点で継続して測定
特定フロンの環境濃度の測定 〔環：大気環境課〕 〔環：環境総合研究所〕	□特定フロン濃度 ・フロン11：0.25ppb ・フロン12：0.50ppb ・フロン113：0.068ppb	□市内4地点で継続して測定
自動車リサイクル法に基づく、フロンの適正な回収処理に係る指導の実施 〔環：廃棄物指導課〕	□登録事業者数（2016年度末）： ・引取業者：153業者 ・回収業者：30業者 □実地調査・指導等件数 ・引取業者：87業者 ・回収業者：11業者	継続実施
オゾン層保護に関する意識啓発 〔環：地球環境推進室〕	□オゾン層保護に関するパンフレットの配布	継続実施

I-4-1-2 酸性雨の防止

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
酸性雨に関する雨水の調査の実施 〔環：大気環境課〕 〔環：環境総合研究所〕	□調査状況 ・麻生環境大気測定局及び環境総合研究所で酸性雨モニタリング調査（通年）	継続実施

I-4-1-3 森林の保全

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
グリーン購入法施行による環境に配慮した商品の選択等、再生品の利用拡大に向けた啓発 〔環：地球環境推進室〕	□平成28年度グリーン購入推進方針（2016年4月、22分野、276品目）の推進	□グリーン購入推進方針（22分野、280品目）の推進

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

II-1 一般廃棄物対策の推進

II-1-1 一般廃棄物の発生・排出抑制

II-1-2 一般廃棄物のリユースの推進

II-1-3 一般廃棄物のリサイクルの推進

II-1-4 一般廃棄物の適正処理

II-1-1 一般廃棄物の発生・排出抑制

II-1-1-1 ごみをつくらないライフスタイルの普及

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
一般廃棄物処理基本計画におけるごみ減量化施策の推進 〔環：廃棄物政策担当〕	□新たな一般廃棄物処理基本計画の運用	□一般廃棄物処理基本計画の運用
エコバックや簡易包装の普及の促進 〔環：地球環境推進室〕	□川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクト（グリーンコンシューマーグループ）による取組の実施	継続実施

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
〔環：減量推進課〕	□エコショップ認定店の紹介 □店舗への簡易包装協力要請：1,859事業者	継続実施
地域における廃棄物減量指導員制度の充実 〔環：減量推進課〕	□廃棄物減量指導員数：1,856名 ・市連絡協議会開催：3回 ・各区連絡協議会開催：19回 ・市・区施設見学会：11回	継続実施
廃棄物処理事業に関する副読本の小学校中学年への配布等によるごみ減量意識の普及啓発の実施 〔環：減量推進課〕	□配布部数：14,000冊（対象：小学校中学年）	継続実施
出前ごみスクール等の実施 〔環：減量推進課〕	□出前ごみスクール：123回 □ふれあい出張講座：87回	継続実施
家庭のごみダイエット・チェックシートの普及 〔環：廃棄物政策担当〕 〔環：減量推進課〕	□一般廃棄物処理計画の運用 □家庭系のごみダイエット・チェックシートの活用	□新たな一般廃棄物処理基本計画の運用 □家庭のごみダイエット・チェックシートの活用
施策の効果分析手法による点検・評価 〔環：廃棄物政策担当〕	□施策の評価手法による点検・評価の実施	継続実施

Ⅱ-1-1-2 ごみをつくらない事業活動の確立

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
リユース・リサイクルショップ制度およびエコショップ制度の認定と利用の促進 〔環：減量推進課〕	□リユース・リサイクルショップ：47店舗（3月31日現在） □エコショップ認定数：419店舗（1商店街を含む）（3月31日現在）	継続実施
事業系ごみの減量化・資源化施策の推進（多量排出事業者等からの減量等計画書の提出による減量化・資源化に向けた指導の実施） 〔環：減量推進課〕	□多量排出事業者への指導：344事業者 □準多量排出事業者への指導：1,061事業者	継続実施

Ⅱ-1-1-3 ごみをつくらない社会経済システムへの変革

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
循環型社会形成推進基本法等のリサイクル関連法に基づく、排出者責任及び拡大生産者責任の徹底に向けた取組の促進 〔環：廃棄物政策担当〕	□九都県市廃棄物問題検討委員会による「容器包装ダイエット宣言」による取組の実施	継続実施
ごみの減量に有効な、経済的手法の調査・研究の実施 〔環：廃棄物政策担当〕	□経済的手法等による排出抑制効果等についての調査・研究	継続実施
具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
費用対効果の分析による、ごみ処理経費の低減方策の検討 〔環：廃棄物政策担当〕	□収集・処理に関する効果的・効率的な施策の推進に向けた検討	継続実施

Ⅱ-1-2 一般廃棄物のリユース推進

Ⅱ-1-2-1 物を大切にするライフスタイルの普及

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
粗大ごみ再生品の利用の促進 〔環：減量推進課〕	□展示数 粗大ごみ再利用品の展示・抽選 ・展示数：720個	継続実施
橘リサイクルコミュニティセンター等を拠点とした再使用・再生利	□取組状況（活動名、開催回数、参加者数）	継続実施

用活動の促進 〔環：減量推進課〕	・古布のリフォーム・小物作り教室：9回開催、計16人 ・牛乳パック工作教室：12回開催、計79人 ・廃木材の木工教室：24回開催、計73人 ・エコぞうり教室：33回開催、計145人 ・裂き織り教室：12回開催、計112人 ・石けん教室：4回開催、計50人 ・紙すき教室：4回開催、計59人 ・ごみ分別学習会：12回開催、計69人 ・川崎市現況報告会：12回開催、計69人 ・リサイクル工作教室：2回開催、8人 ・エコクラフト教室：7回開催、21人 ・施設見学等：14回開催、計138人	
フリーマーケット等の開催と再利用促進のための自主的活動の啓発の推進 〔環：減量推進課〕	☐ 開催数、参加店舗数 ・フリーマーケット：1回開催 - 参加店舗：60店舗 ・学習会、講演会等の開催 - 石けんづくり、紙すき等の学習会、リサイクル講演会、施設見学会等	継続実施
リユース・リサイクルショップ制度およびエコショップ制度の認定と利用の促進 〔環：減量推進課〕	【Ⅱ-1-1-2 施策参照】	【Ⅱ-1-1-2 施策参照】

Ⅱ-1-3 一般廃棄物リサイクルの推進

Ⅱ-1-3-1 分別等の拡充

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
容器包装リサイクル法等に基づく分別収集拡充による資源化の促進 〔環：収集計画課〕	☐ 分別収集量（回収量） ・空き缶：6,270トン/年 ・空きびん：11,293トン/年 ・小物金属：2,552トン/年 ・古紙：106トン/年 ・使用済み乾電池：287トン/年 ・ペットボトル：4,991トン/年 ・ミックスペーパー：13,010トン/年 ・プラスチック製容器包装：12,753トン/年	☐ 分別収集予定量 ・空き缶：6,315トン/年 ・空きびん：11,316トン/年 ・小物金属：2,545トン/年 ・古紙：98トン/年 ・使用済み乾電池：289トン/年 ・ペットボトル：5,075トン/年 ・ミックスペーパー：13,141トン/年 ・プラスチック製容器包装：12,958トン/年
資源集団回収事業（協力団体への奨励金、回収事業者への報償金の交付等）の充実 〔環：減量推進課〕	☐ 町内会等実施団体：1,409団体 ・回収量：42,773トン/年 ・奨励金：3円/kg ☐ 回収業者：108業者 ・回収量：41,802トン/年 ・報償金：1円/kg ☐ 協議会、研修会の開催 ・協議会：3回、研修会1回	☐ 町内会等実施団体 ・回収量：47,225トン/年 ☐ 回収業者 継続実施 ☐ 協議会、研修会 ・協議会：3～4回、研修会1回
正しい分別収集についての普及啓発の推進 〔環：減量推進課〕	☐ 普及啓発資料の作成数 ・資源物とごみの分け方・出し方 冊子版：120,000部 外国語版：8,500部 ・イラストで分かる資源物とごみの分別ルール：10,000部 ・年末年始対策ポスター：60,500枚 ・年末年始対策リーフレット：67,000枚 ・外国人向けリーフレット：28,800枚 ・ごみ分別アプリポスター：600枚 ・ミックス・プラ分別収集啓発チラシ：2,000枚	継続実施 ・普及啓発資料の作成 ・講演、キャンペーンの実施 ☐ ミックスペーパー・プラスチック製容器包装分別収集の協力度の向上にむけた普及啓発

	☐ 講演、キャンペーンの実施数 ・3R推進講演会の開催 1回 ・ごみゼロキャンペーンの実施 等	
地域における廃棄物減量指導員制度の充実 〔環：減量推進課〕	【Ⅱ-1-1-1 施策参照】	【Ⅱ-1-1-1 施策参照】
廃蛍光管リサイクルに向けた拠点回収の実施 〔環：減量推進課〕	拠点回収の通年実施 回収量：約1.3トン	継続実施
コンポスト化容器及び生ごみ処理機等の購入助成の推進 〔環：減量推進課〕	☐ 助成基数 ・コンポスト化容器 助成基数：21基（累計：48基） 助成額：購入金額の2分の1（上限2万円） ・電動生ごみ処理機等 助成基数：142基（累計：3,328基） 助成額：購入金額の2分の1（上限2万円） ☐ 生ごみリサイクルプランの推進	☐ 助成基数 ・生ごみ処理機等（コンポスト化容器含む） 助成基数：150基程度 助成額：購入金額の2分の1（上限2万円）

Ⅱ-1-3-2 事業系ごみの資源化の促進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
商店街等における廃棄物（事業系ごみ）の分別の徹底 〔環：減量推進課〕	☐ 事業系ごみの許可業者収集に移行していない事業者に対し、不適正排出指導を実施	☐ 適正排出及び資源化の促進に向けての分別の指導やリサイクル業者とのマッチングを実施

Ⅱ-1-3-3 環境産業との連携

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
分別収集、リサイクルの拡充に向けた市内環境関連事業者との情報交換 〔環：廃棄物政策担当〕	☐ 情報交換会の開催（1回）	継続実施

Ⅱ-1-4 一般廃棄物の適正処理

Ⅱ-1-4-1 環境負荷の低減に努めた適正処理

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
一般廃棄物処理施設の排ガス、排水、焼却灰等の適正管理による環境負荷の低減 〔環：処理計画課〕	☐ 汚染物質の排出基準値の遵守状況 ごみ焼却施設に適用される法令に基づき測定を行い、基準値を遵守していることを確認	☐ 薬剤等により有害ガス等の除去を引き続き実施
市の埋立地における適正な埋立処分の実施 〔環：処理計画課〕	☐ 排水に含まれる汚染物質の排出基準値の遵守状況 埋立地に適用される法令に基づき測定を行い、基準値を遵守していることを確認	☐ 薬剤等により排水中の汚染物質等の除去を引き続き実施
ごみ処理施設のISO14001規格の自己適合維持による環境負荷の低減 〔環：処理計画課〕	☐ 自己適合宣言の維持（適合監査） ・浮島処理センター、堤根処理センター、王禅寺処理センターで実施	継続実施
廃棄物鉄道輸送事業の実施 〔環：処理計画課〕	☐ 鉄道輸送年間実績量 ・普通ごみ：34,863トン ・ミックスペーパー：7,781トン ・プラスチック製容器包装：7,801トン ・焼却灰：13,054トン ☐ 年間輸送日数：311日	☐ 鉄道輸送年間計画量 ・普通ごみ：39,890トン ・ミックスペーパー：7,884トン ・プラスチック製容器包装：8,030トン ・焼却灰：13,643トン ☐ 年間輸送日数：310日

Ⅱ-1-4-2 ごみ処理施設等の整備

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
資源化処理施設を併設したリサイクルパークあさお整備事業の推進 〔環：施設建設課〕	☐ 取組状況 ・資源化処理施設外構その他工事の完了 ・緑地広場（旧健康とふれあいの広場）整備工事の完了 ・緑地広場の用地確定測量の実施	☐ 取組状況 ・用地確定測量の実施及びとりまとめ
ごみ処理施設等における環境に配慮した施設建設と整備の推進 〔環：施設整備課〕 〔環：施設建設課〕	☐ 堤根処理センター基幹的施設整備完了 ☐ 王禅寺処理センターごみ積替え設備設置の着手・完了 ☐ 橋処理センター整備事業 ・解体撤去工事の着手 ・建設工事の契約準備 ・都市計画変更手続きの完了 ・条例環境影響評価手続きの完了 ☐ 堤根処理センター整備事業 ・計画地の用地確定測量の実施 ・基本構想の作成	☐ 橋処理センター整備事業 ・解体撤去工事の継続 ・建設工事の着手 ☐ 堤根処理センター整備事業 ・計画地の用地確定測量の継続実施 ・基本計画作成（基本設計とりまとめ） ☐ 入江崎クリーンセンター整備事業 ・基本計画作成 ☐ 基幹的施設整備 ・浮島2期廃棄物埋立処分場薄層散布設備基幹的整備の実施 ・南部リサイクルセンター生活環境影響評価の実施

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

Ⅱ-2 産業廃棄物対策等の推進

Ⅱ-2-1 産業廃棄物等の3Rと適正処理

Ⅱ-2-1 産業廃棄物等の3Rと適正処理

Ⅱ-2-1-1 産業廃棄物等の3Rの推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
産業廃棄物処理指導計画における施策の推進 〔環：廃棄物指導課〕	☐ 3Rの推進 ☐ 適正処理の推進 ・優良性評価制度の推進 ・電子マニフェストの普及に向けた取組み	第6次産業廃棄物処理指導計画 ☐ 3Rの推進 ☐ 適正処理の推進 ☐ 地球温暖化対策の推進 ☐ 大規模災害時・緊急時の対応
多量排出事業者等の処理計画の策定、実施の促進 〔環：廃棄物指導課〕	☐ 指導件数 ・処理計画等の策定指導件数：338件 ・提出された計画書の公開	☐ 処理計画の策定指導を引き続き実施
産業廃棄物の発生抑制及び適正な自主管理に向けた普及啓発、指導の推進 〔環：廃棄物指導課〕	☐ 県及び県内の政令市と共同で排出事業者の自主的取組の推進 ・廃棄物管理の取組状況の把握及び分析結果の事業者へのフィードバック ・廃棄物自主管理に係る事例の紹介 ・事業者説明会の開催	☐ 排出事業者の自主的取組の推進を引き続き実施
廃棄物交換制度*の広域的取組の強化 〔環：廃棄物指導課〕	☐ 廃棄物交換件数／廃棄物交換数量 ・市内交換実績 交換件数：3件 交換数量：16.4トン ・県域交換実績 交換件数：71件 交換数量：約1,200トン ・普及活動 「廃棄物交換情報」のホームページ掲載	継続実施
建設リサイクル法施行による、建設資材のリサイクル促進に向けた工事発注者への普及啓発の拡充 〔ま：建築指導課〕 〔建緑：技術監理課〕	☐ 発生抑制、分別解体、再資源化について公共工事発注者に向けた説明会実施 ・未届工事に対するパトロール ・市発注工事の建設副産物実態調査の実施 ・ホームページ、ポスター、パンフレットによるPR	継続実施

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
下水汚泥の焼却灰の資源化 〔上下：下水道計画課〕	□資源化 ※下水汚泥焼却灰のセメント原料化を進めてきましたが、2011（平成23）年3月に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、下水汚泥焼却灰等から放射性物質が検出されたことから、安全に焼却灰の保管を継続するとともに、対応方針について検討を進めています。	継続実施
公共事業から発生する特定建設資材建設廃棄物の再利用の促進 〔建緑：技術監理課〕	□再利用率 ・アスファルト・コンクリート塊：100% ・コンクリート塊：99% ・建設発生木材：89%	継続実施
建設発生土の量の抑制と再利用の推進 〔建緑：技術監理課〕	□再利用率：96% ・公共工事建設発生土処理実績量：301,418 m ³	継続実施

Ⅱ-2-1-2 産業廃棄物の適正処理の推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
産業廃棄物処理指導計画における施策の推進 〔環：廃棄物指導課〕	【Ⅱ-2-1-1 施策参照】	継続実施
マニフェストシステム*による産業廃棄物の適正処理の促進 〔環：廃棄物指導課〕	□適正処理の指導件数 ・排出事業者への立入指導：263件 ・処理業者への立入指導：206件	継続実施
産業廃棄物の情報管理システムの充実と活用の促進 〔環：廃棄物指導課〕	□システムの運営状況 ・2007（平成19）年度より運用開始	継続実施
民間による中間処理施設の適正配置に向けた整備の実施 〔環：廃棄物指導課〕	・中間処理施設が環境に配慮した施設となるよう指導	継続実施
廃棄物処理施設の適正管理の促進 〔環：廃棄物指導課〕	・市内の廃棄物処理施設設置者を対象に立入検査・指導を実施 ・立入検査実施施設数 153施設	継続実施
PCB 廃棄物の実態把握、適正な保管の徹底及び適正な処理体制の推進 〔環：廃棄物指導課〕	□PCB 廃棄物（2015年度実績） ・処理量：コンデンサ 327台 トランス 2台 ・PCB 廃棄物の市内保管状況（事業所数） 保管事業所数：約 540 事業所 ・適正保管の指導 ・処理体制の状況の周知	□適正保管の指導を引き続き実施 □フォローアップ調査の実施
医療廃棄物の適正処理の指導の推進 〔環：廃棄物指導課〕	□指導事業所数：23か所	継続実施
廃棄物の不法投棄に対する監視・指導の実施 〔環：廃棄物指導課〕	□定期パトロール：103日 □不法投棄されている廃棄物量：52トン	□監視計画 適宜巡回パトロールを実施

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

Ⅲ-1 緑の保全・創出・育成

Ⅲ-1-1 緑地の保全

Ⅲ-1-2 農地の保全

Ⅲ-1-3 緑化の推進

Ⅲ-1-4 公園緑地の整備・活用

Ⅲ-1-1 緑地の保全

Ⅲ-1-1-1 緑地の保全

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定等による良好な緑地保全の推進 〔建緑：みどりの保全整備課〕	☐ 特別緑地保全地区指定数、面積 75か所、128.2ha ☐ 緑の保全地域指定数、面積 34か所、31.2ha ☐ 保全緑地取得面積 103.5ha	☐ 特別緑地保全地区拡大予定：6か所 ☐ 緑の保全地域指定予定：2か所 ☐ 保全緑地取得予定：4ha
緑地保全協定の締結の推進 〔建緑：みどりの保全整備課〕	☐ 緑地保全協定数、面積 121件、71.07ha	☐ 緑地保全協定締結予定：随時締結
特別緑地保全地区等で植生に配慮した保全管理計画の策定 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 計画作成地区名 ・向原の里特別緑地保全地区 ・小沢城址特別緑地保全地区 ・おっ越し山緑の保全地域 ・久地特別緑地保全地区 ・多摩特別緑地保全地区 ・菅馬場谷特別緑地保全地区 ・黒川広町緑の保全地域 ・南野川特別緑地保全地区 ・岡上和光山緑の保全地域 ・神庭特別緑地保全地区 ・岡上梨子ノ木特別緑地保全地区 ・久末特別緑地保全地区 ・黒川よこみね特別緑地保全地区 ・菅生ヶ丘特別緑地保全地区 ・王禅寺源左衛門谷特別緑地保全地区 ・生田榎戸特別緑地保全地区 ・柿生の里特別緑地保全地区 ・菅小谷緑の保全地域 ・片平緑の保全地域 ・栗木山王山特別緑地保全地区 ・井田平台特別緑地保全地区 ・岡上丸山特別緑地保全地区 ・久末東特別緑地保全地区 ・王禅寺東特別緑地保全地区 ・生田寒谷特別緑地保全地区 ・多摩美特別緑地保全地区 ・早野梅ヶ谷特別緑地保全地区 ・井田山特別緑地保全地区（新規）	☐ 策定予定 ・久末イノ木特別緑地保全地区

Ⅲ-1-1-2 保全された緑地の適切な管理

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
特別緑地保全地区等で植生に配慮した保全管理計画の策定 〔建緑：みどりの協働推進課〕	【Ⅲ-1-1-1 施策参照】	【Ⅲ-1-1-1 施策参照】
里山ボランティア育成講座の実施 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 講座修了者数：33名 （受講修了者延べ数：550名）	継続実施

Ⅲ-1-1-3 地域に残された身近な緑の継承

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
保存樹木、保存樹林、保存生垣、 まちの樹*等の指定による地域の樹 林・樹木の保全 〔建緑：みどりの協働推進課〕 〔建緑：みどりの保全整備課〕	□保存樹林数、面積 35か所、46,279m ² □保存生垣数、延長 43か所、2,700.1m □保存樹木数 858本	□指定の予定：随時指定

Ⅲ-1-1-4 開発事業等における緑地の保全と創出

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
開発事業地内の自然的環境配慮に 関する「自然的環境保全配慮書」へ の助言指導 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□48件協議 (2004年度策定)	継続実施

Ⅲ-1-1-5 新たな緑地保全管理に向けた検討

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
里山再生事業の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□黒川地区における「緑地保全基本計 画」の検討、里山の保全・再生、体 験学習等の検討 □岡上地区における市民・大学・小学 校との連携による保全活動・環境教 育の取組の推進 □早野地区における都市農地、里地里 山の保全と活用による価値向上と活 性化に向けた取組の推進	□黒川地区における「緑地保全基本計 画」の策定、里山の保全・再生、体 験学習等の実施 継続実施 継続実施
様々な主体の参画による新たな保 全緑地管理の検討 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□玉川大学 ・岡上杉山下特別緑地保全地区でノネ ズミ類と植生に関する研究 □明治大学 ・西黒川特別緑地保全地区での生態調 査等の実施 □東京農業大学 ・早野梅ヶ谷特別緑地保全地区で林床 管理が生態系に及ぼす影響に関する 研究	継続実施

Ⅲ-1-2 農地の保全

Ⅲ-1-2-1 農地の保全と活用

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
生産緑地地区の指定と活用の推進 〔経：農地課〕	□生産緑地面積：279ha 生産緑地地区：1,783か所	□関係部局と協議の上、生産緑地の追 加・指定
都市農地の多面的な機能の活用 〔経：農地課〕	□グリーン・ツーリズムの実践及び課 題調査 □明治大学との連携 □農産物直売所内情報発信施設におけ る共同事業の実施 □早野里地里山づくり推進計画に基づ く協働事業等の実施 □遊休農地対策事業の実施	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
農業や化学肥料を節減した栽培の 奨励等による環境保全型農業等の 促進 〔経：農業技術支援センター〕	□「川崎市環境保全型農業推進方針」 の改定に基づき、実証展示栽培、技 術講習会等を実施	□「川崎市環境保全型農業推進方針」 に基づき実証展示栽培、慣行レベル より農業使用を節減した栽培への助 成、技術講習会等を実施
地場産の農産物の地域内消費の推 進 〔経：農業振興課〕 〔経：農業技術支援センター〕	□かわさき地産地消推進協議会を主体 とした地産地消の推進 □多摩川ナシ保存奨励（栽培保存： 111件）	□かわさき地産地消推進協議会を主体 とした地産地消の推進 □多摩川ナシ保存奨励

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
農業生産基盤の整備 〔経：農地課〕	☐ 水利権調査 ・かんがい用動力費の補助 ☐ 農業用施設等のストックマネジメント ☐ 黒川東地区の換地促進	継続実施

Ⅲ-1-2-2 農を知る機会と参加する仕組の充実

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
市民農園等による農体験を通じた都市農地の活用 〔経：農業振興課〕	☐ 市民農園の整備数 ・川崎市市民農園：5 農園、652 区画 ・地域交流農園：1 農園、40 区画 ☐ 体験型農園の設置及び整備数 設置数：10 農園	☐ 市民農園の整備数 ・川崎市市民農園：5 農園、653 区画 ・地域交流農園：2 農園、未定 ☐ 体験型農園の設置 設置数：11 農園 ☐ 体験型農園の開設へ向けた普及活動

Ⅲ-1-3 緑化の推進

Ⅲ-1-3-1 公共空間の緑化推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
街路緑化の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕 〔建緑：みどりの保全整備課〕	☐ 街路樹延長・本数：(累計)408 路線 約 229km、41,304 本 ☐ 愛護会数 ・街路樹等愛護会：1,186 ブロック (1 ブロック概ね 100m)	継続実施
公共施設・学校等における緑地の確保、屋上・壁面緑化、シンボルツリーの植栽、ベランダ緑化等による緑化の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	【Ⅲ-3-3-1 施策参照】	【Ⅲ-3-3-1 施策参照】

Ⅲ-1-3-2 都市拠点における緑化の推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
緑化を重点的に図るべき地区における、市・市民・事業者による緑化の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 緑化推進重点地区の整備 ・古市場公園緑化整備	☐ 緑化推進重点地区の整備予定 ・該当なし ☐ 新百合丘地区について緑化推進重点地区計画の見直しにむけた基礎資料の作成

Ⅲ-1-3-3 民有地の緑化推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
生垣づくり等の緑化への助成による緑化支援の実施 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 民有地の緑化事業としての助成 ・奨励金支給：特別緑地保全地区・緑の保全地域：84 件 緑地保全協定：114 件 保存樹林：30 件 保存生垣：43 件 保存樹木：234 件 まちの樹：27 件 ・生垣緑化：2 件 ・思い出記念樹：1,178 件	☐ 申請に応じて随時支援
市民が自主的に緑化活動に取り組む「地域緑化推進地区*」の指定と活動の支援 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 地域緑化推進地区の指定数：22 件	随時指定
緑化の推進等実践的な活動を行う緑の活動団体への支援 〔建緑：みどりの協働推進課〕	☐ 緑の活動団体登録数：254 団体 ☐ 公益財団法人川崎市公園緑地協会から、205 団体に助成金 593.0 万円交付	継続実施

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
市と事業所等との緑化協定の締結による事業所における緑化の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□協定締結数：67件 ・緑地面積：155ha：達成率 100%	継続実施
開発事業に関する緑化及び緑の管理等についての緑化指針に基づく指導・助言 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□指導件数：126件	継続実施
民有地の屋上緑化、壁面緑化等の緑化整備に対する支援制度の普及・啓発の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	【I-3-3-1 施策参照】	【I-3-3-1 施策参照】
地域の緑化を自主的に推進する人材の育成 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□緑化推進リーダー育成講座修了者数 ・花と緑のまちづくり講座 修了者：24名 ・里山ボランティア育成講座 修了者：33名	継続実施

III-1-4 公園緑地の整備・活用

III-1-4-1 公園緑地の整備推進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
住民参加等多様な手法による公園整備計画の検討 〔建緑：みどりの企画管理課〕 〔建緑：みどりの保全整備課〕	□対象事業の検討	□生田緑地ばら苑における整備計画の検討
地域特性や自然を活かした魅力ある大規模公園の整備の推進 〔建緑：等々力緑地再編整備室〕 〔建緑：みどりの保全整備課〕	□等々力緑地の整備 等々力陸上競技場整備ほか ・都市計画決定面積：56.40ha ・都市公園面積：36.59ha（管理面積：43.59ha） ・生田緑地の整備 園路広場整備 都市計画決定面積：179.3ha 都市公園面積：117.4ha（管理面積：129.3ha） ・菅生緑地の整備 西地区広場整備 菅生緑地：都市計画面積約13.4ha 都市公園面積：9.7ha（管理面積：9.7ha）	継続実施
街区公園、近隣公園等の身近な公園の整備 〔建緑：みどりの保全整備課〕 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□街区公園等の整備拡充 開発行為等による提供公園5か所 0.13ha □リフレッシュパーク事業の推進（小田公園）	継続実施
港における臨海公園の整備等 〔港：経営企画課〕	□臨海公園面積 約32ha □港における公園等の維持管理	継続実施

III-1-4-2 公園緑地の管理運営の充実

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
街区公園等身近な公園の地域住民による維持管理活動の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□地域住民が維持管理する公園数：541 □愛護会数 ・公園緑地愛護会：340団体	□愛護団体未設置公園の解消
公園利用ガイドブックの作成による公園の適正な利用への普及・啓発 〔建緑：みどりの保全整備課〕	□ホームページ上で遊具の安全な遊び方についての普及・啓発の実施	□作成に向けた準備
公園の利用や運営を考慮した公園の適正な維持管理 〔建緑：みどりの協働推進課〕	□取組状況 剪定、刈込、除草等の管理活動の実施	継続実施

Ⅲ-2 健全な水循環の確保

Ⅲ-2-1 水循環の実態把握

Ⅲ-2-2 地下水、湧水の保全

Ⅲ-2-3 河川環境等の保全

Ⅲ-2-4 効率的な水利用の推進

Ⅲ-2-1 水循環の実態把握

Ⅲ-2-1-1 地形・水文地質の状況把握

具体的施策名	2016（平成 28）年度実績	2017（平成 29）年度計画等
地質調査資料の収集・整理による 地質構成の把握 〔環：水質環境課〕	□地盤情報データベース化	継続実施

Ⅲ-2-1-2 湧水地の実態把握

具体的施策名	2016（平成 28）年度実績	2017（平成 29）年度計画等
湧水地の水質調査 〔環：水質環境課〕 〔環：環境総合研究所〕	□整備した湧水地 9 箇所について、毎月、 湧水量の測定等を実施	継続実施

Ⅲ-2-2 地下水、湧水の保全

Ⅲ-2-2-1 地下水かん養能力の保全・回復

具体的施策名	2016（平成 28）年度実績	2017（平成 29）年度計画等
水環境保全計画に基づく、計画的、総合的な施策の推進 〔環：水質環境課〕	□取組状況 ・水環境保全計画に基づき河川、地下水、海域等の水環境を一体とし、総合的に水環境の保全を推進	継続実施
涵養域における雨水浸透*の推進 〔環：水質環境課〕	□取組状況 ・宅地内雨水浸透ます設置補助金交付制度による雨水浸透の推進 ・申請件数：2 件	雨水浸透施設導入の促進に向けた取組の検討
大規模開発における雨水を浸透させる機能についての配慮の促進 〔建緑：河川課〕	□指導件数、年間貯留量 整備件数 7 件、貯留量 2,029 m ³ （五反田川放水路、末長小学校、西梶ヶ谷小学校、有馬第二住宅、小杉駅周辺地区新設小学校、動物愛護センター、上平間営業所） ・民間施設における雨水流出抑制指導 指導件数：92 件、貯留量：約 15,126 m ³	継続実施
歩道や公共施設等の整備における積極的な透水性舗装等の導入 〔ま：施設計画課〕 〔建緑：道路整備課〕 〔建緑：道路施設課〕 〔建緑：企画課〕	【Ⅲ-3-3-1 施策参照】	【Ⅲ-3-3-1 施策参照】
多自然川づくり*の推進 （河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するための河川管理） 〔建緑：河川課〕	□河川改修区間延長（多自然川づくり） ・平瀬川支川：27m（累計 781m）	□計画 ・平瀬川支川：護岸 30m

Ⅲ-2-2-2 湧水地の保全

具体的施策名	2016（平成 28）年度実績	2017（平成 29）年度計画等
湧水地の整備の推進 〔環：水質環境課〕	□湧水地周辺の整備 ・整備した湧水地 9 箇所の維持管理	継続実施

環境影響評価に関する手続きの際における湧水地の保護への要請 〔環：水質環境課〕	□要請件数：0件	継続実施
--	----------	------

Ⅲ-2-3 河川環境等の保全

Ⅲ-2-3-1 適正流量の確保

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
水環境保全計画に基づく、計画的、総合的な施策の推進 〔環：水質環境課〕	【Ⅲ-2-2-1 施策参照】	【Ⅲ-2-2-1 施策参照】
地下水の賦存量を確保するための雨水の地下浸透の推進 〔環：水質環境課〕	【Ⅲ-2-2-1 施策参照】	【Ⅲ-2-2-1 施策参照】
下水の高度処理水の活用 〔上下：下水道計画課〕	□高度処理水の再利用量 ・等々力水処理センターの高度処理水を江川せせらぎ水路用水として利用 ・再利用水量：2,248,485 m ³ /年	継続実施

Ⅲ-2-3-2 水辺環境の保全

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
良好な自然環境を残す多自然の河川の維持・再生 〔建緑：多摩川施策推進課〕 〔建緑：河川課〕	□多摩川に関する推進計画「新多摩川プラン」の推進 ・ごみ清掃 ・生物が棲みやすい環境創造のための刈り残しの実施	□多摩川に関する推進計画「新多摩川プラン」の推進
草刈り等河川の適正な維持管理の実施 〔建緑：多摩川施策推進課〕 〔建緑：河川課〕	□管理活動の実施回数 ・多摩川緑地草刈り：年6回 □市内河川の維持管理 ・草刈り・施設維持	継続実施
市民参加による水辺のクリーン運動及び維持管理の推進 〔建緑：河川課〕 〔建緑：多摩川施策推進課〕 〔市：市民活動推進課〕	□クリーン運動実施回数 ・鶴見川流域クリーンアップ作戦：7回 □多摩川美化活動（6月5日実施） ・市民参加数：161団体、12,018人参加 ・一般ごみ、空き缶等約3.27トンの分別収集を実施 □河川愛護ボランティア制度 ・市民参加数：8団体、269人登録・参加	継続実施

Ⅲ-2-4 効率的な水利用の推進

Ⅲ-2-4-1 雨水等の効率的な水利用の促進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
公共施設に雨水を利用した中水道システム*の導入の推進 〔ま：施設計画課〕	□システム導入件数 ◇雨水利用システム：1か所 スポーツ・文化複合施設	継続実施

Ⅲ-2-4-2 節水の促進

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
水の適正使用等に向けた各種広報活動の実施 〔上下：サービス推進課〕	□小学生社会科副読本「川崎市の水道・下水道」 の無償配付（対象 小学4年生全員） □水道週間行事の開催（施設見学会、小中学生作品コンクール、かわさきみずみずフェア等の実施） □区民祭等でのPRの実施 ・各種パンフレット・リーフレットの	継続実施

	作成配布等 ・上下水道局広報紙「かわさきの上下水道」の配布 ・局ウェブサイトによるPR ・国際展示会等への出展 ・水道・下水道出前教室の実施 ・施設見学会の実施	
--	---	--

施 策 の 方 向

施 策 の 柱

Ⅲ-3 生物多様性の保全

Ⅲ-3-1 生物多様性の保全

Ⅲ-3-1 生物多様性の保全

Ⅲ-3-1-1 自然に関する情報の収集・整理・活用

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
「自然環境調査」等による現存植生や生物生息調査の実施 〔環：水質環境課〕 〔環：環境総合研究所〕 〔教：青少年科学館〕	☐ 調査実施地区数 ・生物の生息地調査の実施 ・親水施設調査3地点	継続実施 ・親水施設調査3地点 ・市域の自然調査及び資料収集整理
市内河川や河口干潟等における水辺生物の調査の実施 〔環：環境総合研究所〕 〔環：水質環境課〕	☐ 調査実施地区数： ・生物調査4地点（水質環境課） ・河川生物調査5地点（環境総合研究所） ・親水施設水質調査9地点（環境総合研究所） ・親水施設生物調査3地点（環境総合研究所） ・東扇島人工海浜生物調査3地点（環境総合研究所）	☐ 調査実施地区数： ・生物調査4地点（水質環境課） ・親水施設水質調査9地点（環境総合研究所） ・親水施設生物調査3地点（環境総合研究所） ・多摩川河口干潟生物調査3地点（環境総合研究所）
川崎港生物相調査 〔環：水質環境課〕	☐ 川崎港海域生物調査4地点	継続実施
市内の希少な動植物等の生育・生息状況調査の実施 〔環：環境総合研究所〕	☐ 動植物の生育・生息状況 ・三沢川下村橋で環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠB類に指定されているホトケドジョウを確認	☐ 動植物の生育・生息状況 ・希少生物調査6地点（親水施設生物調査及び多摩川河口干潟生物調査と併せて実施）
地域の自然を再発見するツアーの実施 〔環：環境総合研究所〕	☐ ツアー等実施回数 ・河口干潟観察会：年5回開催 ・自然観察会：年4回開催	☐ ツアー等実施予定 ・河口干潟観察会：年5回 ・自然観察会：年4回
生物多様性に関する普及啓発の実施 〔関係局・区〕	☐ フォーラム実施等普及啓発状況 ・グリーンウェイブ：20団体参加 ・動物愛護フェアや花と緑の交流会での普及啓発 ・県立川崎図書館ミニ展示 ・里山フォーラム in 麻生での普及啓発 ・川崎アゼリア広報コーナーでの展示 ・「エコシティたかつ」推進フォーラムの実施	☐ フォーラム実施等普及啓発予定 ・グリーンウェイブ参加 ・花と緑の市民フェア、花と緑の交流会での普及啓発 ・川崎アゼリア広報コーナーでの展示 ・「エコシティたかつ」推進フォーラムの実施
動物の愛護と管理の促進 〔健：動物愛護センター〕	☐ 終生飼養等普及啓発状況 ・動物愛護教室 34回 1,051名 ・譲渡前講習会 31回 33名 ・譲渡時講習会 106回 116名 ・しつけ方教室 2回 35名	継続実施
生物多様性に配慮した活動ガイドラインづくり 〔環：環境調整課〕	☐ 普及啓発 ・生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ～活動ポイント事例集～を里山ボランティア講座の中で話題提供	継続実施
身近な生き物観察教材の作成・配布 〔環：環境総合研究所〕 〔環：環境調整課〕	☐ 教材の作成状況 ・小学生向け環境副読本に身近な生き物観察教材として掲載	継続実施
自然調査に携わる人に向けた講座の実施	☐ 講座実施状況 ・自然環境の調査や研究を担う人材（市民）育成につながる自然観察会や各種	継続実施及び新規計画 ・植物観察会 ・昆虫観察・撮影講座

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
[教：青少年科学館]	教室、講座の実施	・生田緑地観察会 ・その他各種観察会、講座
川崎生き物マップの運用 [環：環境調整課]	□寄せられた情報数 ・2,224件	継続実施
水環境保全システムの運用 [環：水質環境課]	□水環境情報の発信状況 ・水辺地マップの運用	継続実施
生物多様性に関する施設等の間の 情報交流の機会づくり [教：青少年科学館] [建緑：夢見ヶ崎動物公園] [建緑：多摩川施策推進課] [環：環境調整課] [環：地球環境推進室]	□交流の機会の実施状況 ・生物多様性推進検討会議：1回 ・環境教育・学習推進会議：1回 ・生物多様性に関する施設間庁内情報 交流会：1回	継続実施

Ⅲ-3-1-2 生息生育空間の保全・創出

具体的施策名	2016（平成28）年度実績	2017（平成29）年度計画等
生物多様性・地域戦略の策定に向けた検討 [環：環境調整課]	□生物多様性かわさき戦略の推進	継続実施
公共事業の実施において、対象地域内での生物生息・生育環境保全、再生、創出への配慮についての助言指導 [建緑：みどりの協働推進課]	□川崎市緑化指針に基づく指導・助言	継続実施
民間による開発事業に対する生息地の保全・再生への配慮についての助言指導 [建緑：みどりの協働推進課]	□川崎市緑化指針に基づく指導・助言	継続実施
環境影響評価の手續における緑及び生態系、並びに地下水の保全・回復への取組の要請 [環：環境評価室]	□審査件数 ・緑：7件 ・生態系：1件 ・地下水：0件	継続実施
河川の整備における漁礁ブロック、魚道の設置等、生物の生息環境への配慮の実施 [建緑：河川課]	□設置件数（累計） ・魚道：8か所 ・漁礁ブロック：1か所	実施未定
生き物に配慮した整備等マニュアルづくり [環：環境調整課]	□周知 ・生き物のいる環境づくり～生物多様性に配慮した公共施設の整備等～を庁内向けに周知	継続実施
建築物等における生き物に配慮した緑化の助言 [建緑：みどりの協働推進課]	□川崎市緑化指針に基づく指導・助言	継続実施
生物多様性に関する指標づくり [環：環境調整課]	□市民参加型生き物調査の施行実施に向けた講座の実施	継続実施 ・市民参加型生き物調査の試行実施